

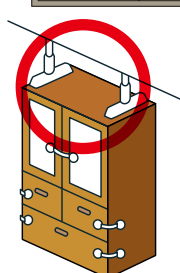
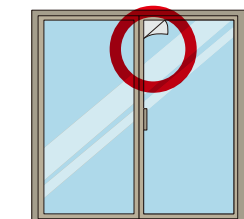
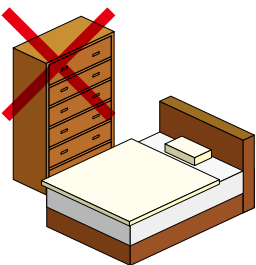
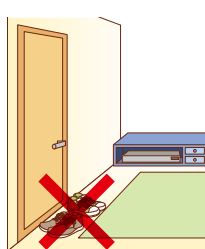
今日できる防災チェック！

近年、各地で地震が発生しています。7月にも最大震度7を観測した令和8年熊本地震が発生しました。もしもの時に慌てないためには、普段の備えが大切です。自分や家族の安全を守るために、今日できる防災対策を確認してみましょう。

家の安全をチェックしましょう！

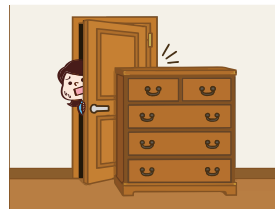
過去の地震では、家具の転倒により多くの方が亡くなっています。地震から身を守るため、家の安全対策を見直しましょう。

- ☐ 出入り口や廊下にもものを置かない
- ☐ 寝室や子ども部屋に大型の家具を置かない
- ☐ ガラスに飛散防止フィルムを貼る
- ☐ 家具は固定する



家具の固定で命を守りましょう

大きな地震が発生すると、固定していない家具は倒れたり移動したりして、けがや避難の妨げになることがあります。「家具は必ず固定するもの」と考えて、転倒防止器具を設置しましょう。



▲転倒防止器具の正しい取り付け方を市公式YouTubeで紹介しています

●転倒防止器具を正しく取り付けられるか不安な方へ

65歳以上のみで暮らす世帯の方向けに家具転倒防止器具の無料設置を行っています。ご希望の方は、お問い合わせください。

家の備えをチェックしましょう！

自宅が安全な場合は、住み慣れた家で生活続ける「在宅避難」ができます。普段使う食品や生活用品を災害時にも活用する「フェーズフリー」を取り入れ、最低3日分、できれば1週間分を備えておきましょう。

- ☐ 食料
- ☐ 飲料水(目安：1人1日3ℓ)
- ☐ 携帯トイレ(目安：1人1日5回程度)
- ☐ カセットコンロ・ろうそく・燃料
- ☐ 給水袋・ポリタンク・ボトルなどの水を入れるもの
- ☐ ウェットティッシュ・トイレットペーパー
- ☐ モバイルバッテリー
- ☐ 懐中電灯
- ☐ 救急箱

- ☐ 生理用品
- ☐ ヘルメット
- ☐ 常備薬、お薬手帳

子ども向けに準備しておきたいもの

- ☐ ミルク、離乳食
- ☐ おむつ

高齢者向けに準備しておきたいもの

- ☐ 入れ歯、洗浄用品
- ☐ 老眼鏡



さらに詳しく知りたい方は、東京備蓄ナビ(東京都総務局)をご活用ください▶

非常用持ち出し袋を作ろう

準備した用品の一部をリュックに入れておくことで、在宅避難ができない場合でも、避難所へすぐに避難することができます。また、子どもはお気に入りのおもちゃ、大人は趣味の道具など、気持ちを落ち着かせるものを持っていくことも大切です。



最寄りの災害時給水拠点の場所をチェックしましょう！

断水時に困らないために、飲料水の備蓄とあわせて、お近くの災害時給水拠点の場所や利用方法を確認しておきましょう。

- ☐ 桜ヶ丘配水所(桜ヶ丘4-10)
- ☐ 落合配水所(中沢1-12)
- ☐ 愛宕配水所(愛宕2-51)
- ☐ 南野給水所(南野2-16)
- ☐ 聖ヶ丘給水所(聖ヶ丘4-1)
- ☐ 並木公園応急給水槽(和田1551-1)
- ☐ 各避難所の応急給水栓

地図はこちら▶



水のもらい方 ※必ず開設状況をご確認ください



※画面はイメージです
公式ホームページなどで災害時給水拠点の「開設状況」を確認する



給水袋などを持って災害時給水拠点へ行く



給水袋などに水をくむ

☎1016261 区防災安全課 ☎(338) 6802 ・ ☎(339) 7422

